報道関係各位

株式会社 山本製作所

平成26年6月11日
株式会社山本製作所

「シンプル(Simple)＆エコノミー(Economy)」の追求で、電気料金が年間・１，０００円もお得に。更なる省エネ性・安全性・清潔性を向上した、新型・低温貯蔵庫 販売開始

これまで以上に「省エネ性・安全性・清潔性」を向上した新型・低温貯蔵庫「アグリストッカ」ＡＧＲ－ＳＥ２シリーズを、６月中旬より販売開始いたします。

株式会社山本製作所（本社：山形県天童市、代表取締役：山本丈実）は、これまで以上に「省エネ性・安全性・清潔性」に優れた新型・低温貯蔵庫「アグリストッカ」ＡＧＲ－ＳＥ２シリーズ・４機種を、６月中旬より販売する。

低温貯蔵庫「アグリストッカ」は庫内環境を米に適した温度に保ち、お米の酸化を抑える玄米専用の保冷庫。いつでも新鮮なおいしい米を食べたいという日本人の発想から誕生し、現在では農家の方のみならず一般のご家庭でも広く使用されている。玄米専用の保冷庫は、農機取扱店をはじめホームセンター等でも気軽に購入できる身近な農用家電になった。

今回販売を開始する、新型・低温貯蔵庫「アグリストッカ」ＡＧＲ－ＳＥ２シリーズの開発では、環境配慮型企業として地球にやさしい「省エネ」製品にすることを重視した。
上下・左右・前後の壁面を従来機より５ｍｍ厚くし断熱性を上げることで、外気温が庫内に伝わりにくく庫内温度をキープできる。この高い断熱性により、従来機に比べ使用電力量を約１０％削減でき、電気料金が年間・約１，０００円（東北電力の場合）もお得になる。
また、従来機以上の使いやすさを追求し、夜間作業時の安全性を考慮したＬＥＤの庫内灯を搭載。加えて抗菌効果のある樹脂製スノコを採用し、更なる「省エネ性」「安全性」「清潔性」を向上した。

他にも、ＡＧＲ－ＳＥ２シリーズには、業界初のホワイトボード（マグネット式）とペンのセット品を標準装備。これはお客様からいただいた要望を採用した。内容物を記録したりメモ等に活用していただく。

「農業を大切にすることは、地球を大切にすること」を経営理念とする弊社は、米はもちろん、人や地球環境に配慮できる製品が完成したことで、お客様の共感が得られると期待している。

■お問い合わせ先
株式会社山本製作所　**農機営業部**
〒999-3701　山形県東根市大字東根甲5800-1
Tel：0237-43-8811　Fax：0237-43-8817
e-mail：info@yamamoto-ss.co.jp
ホームページ：http://www.yamamoto-ss.co.jp/

（発信：経営企画部　広報グループ）

新型・低温貯蔵庫「アグリストッカ」ＡＧＲ－ＳＥ２シリーズ　詳細

【仕様、メーカー希望小売価格】

ＡＧＲ－８ＳＥ２（３０ｋｇ紙袋収納数：８袋/４俵）		￥１８９，０００円（税込）
ＡＧＲ－１５ＳＥ２（　〃　：１５袋/７．５俵）		￥２２１，４００円（税込）
ＡＧＲ－２１ＳＥ２（　〃　：２１袋/１０．５俵）		￥３０７，８００円（税込）
ＡＧＲ－２８ＳＥ２（　〃　：２８袋/１４俵）		￥３２９，４００円（税込）

※全機種、玄米専用低温貯蔵庫

【特長】

①【新機能】断熱性能の向上

上下・左右・前後の壁面を従来機より５ｍｍ厚くし断熱性を向上。外気温度に左右されず庫内温度をキープ。従来機に比べ、消費電力量が約１０％削減できる「省エネ」設計で、電気料金が年間・約１，０００円もお得。（当社・従来機比）

②【新機能】ＬＥＤの庫内灯搭載

庫内に省エネ性の高いＬＥＤ照明を搭載。夜間の作業時も、明るく安全に作業ができる。

③【新機能】抗菌効果

銀を配合した樹脂製スノコが、菌の発生を抑制する抗菌効果を発揮し、保管物を清潔に保つ。

④【新機能】ホワイトボード標準装備

お客様からのご要望を採用し、ホワイトボード（マグネット式）と
ペンのセットを標準装備。内容物の記録やメモ等に活用。

⑤【新機能】長期保証

安心して使える５年保証。（取扱説明書通りの使用条件以外での不具合・故障等は対象外）

○低い全高設計

従来機同様に全体の高さを低く設計し、米袋の積み下ろし作業時の負担を軽減。
米袋の積み高は最高でも１．３ｍ。（ＡＧＲ－２１、２８ＳＥ２）

○玄米以外の一時保存

「冬越しモード」に切り換えると、凍結防止ヒーターが作動。
冬場に凍らせたくない野菜類を一時保存可能。（ただし、玄米と一緒に入れないこと）

■お問い合わせ先
株式会社山本製作所　**農機営業部**
〒999-3701　山形県東根市大字東根甲5800-1
Tel：0237-43-8811　Fax：0237-43-8817
e-mail：info@yamamoto-ss.co.jp
ホームページ：http://www.yamamoto-ss.co.jp/

（発信：経営企画部　広報グループ）